



夏休みが1週間過ぎました

7月13日(金)の通学班会議では、1学期の反省と登下校時に大地震が起きたときの対処の仕方を学びました。

終業式が終わった後に、陸上選手や学校代表児童を全校児童が激励しました。



7月20日(金)の終業式では、3年生と6年生の代表児童が1学期の振り返りと2学期の抱負を全校児童の前で語りました。また、生活安全委員から夏休みの過ごし方についての話がありました。



8月10日(金)～16日(木) 緊急メールと学校ホームページについて

8月10日(金)～16日(木)は、市教委サーバーを交換するため、緊急メールを発信できません。また、学校ホームページも閲覧できません。この間、8月13日(月)～15日(水)が学校閉校日となります。緊急の場合は、学校教育課へお願いします。
(8時30分～17時15分) (0568-85-6444)

運動会の綱引きについて

例年、本校は9月の下旬に運動会を行っており、残暑が続いている時期でもあります。今年度は9月29日(土)に運動会を実施する予定です。

そのような中、子どもたちの体調面を懸念する声もあがっています。そこで、子どもたちの健康面を考慮し、プログラムの内容や終了時刻等を検討した結果、PTA・来賓「綱引き」を今年度から割愛することと致しました。

運動会の実施にあたっては、児童の健康安全に配慮しつつ、学習の成果が表れるように努めてまいりますので、ご理解と・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「特別の教科 道徳」について

今年度より、「特別の教科 道徳」が始まりました。今回は、どんなことが変わったのかお伝えします。

【なぜ「特別の教科 道徳」なのか？】

検定教科書を使うことは同じですが、国語や算数などの「教科」とは異なり、小学校も中学校も、専門免許をもって教えるのではなく学級担任が指導します。また、文章で評価すると定められています。

【教科化された背景は？】

これまでの道徳の時間の指導法や内容についての反省をもとに、いじめ防止の推進と、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と改善・充実を図るために、道徳が教科化されました。

【道徳科の学習に求められているものは？】

- ①道徳的価値について理解する
(価値理解、人間理解、他者理解)
- ②自己を見つめる (自己理解)
- ③物事を多面的・多角的に考える
(他者との対話、協働)
- ④自己の生き方について考えを深める

【道徳科の評価は？】

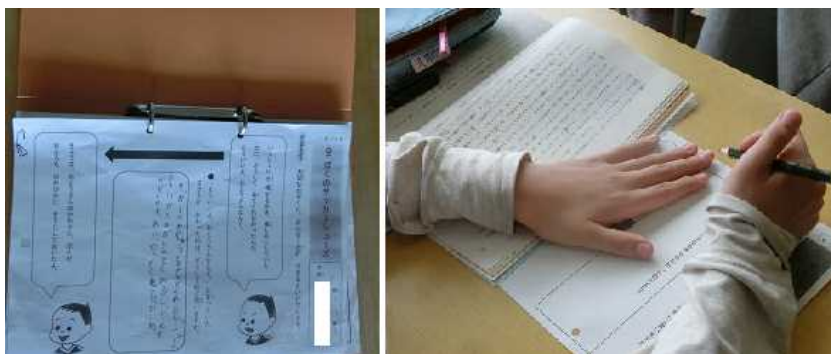
授業の中での会話・作文・ワークシートによる評価の蓄積をします。それらを基に以下のように評価をしていきます。

「道徳科の中で見られた学習状況」や、
「道徳性に係る成長のようす」を
「個人内評価として丁寧に見取り、記述で表現する」

【考え、議論する道徳とは？】

道徳的価値についての自分の考えをもち、比較・検討ができる機会をもたせる授業をめざします。以下の3点が主な目標です。

- ・道徳的価値の大切さを理解する。
- ・自分との関わりでとらえる
- ・ねらいとする道徳的価値について多様な考えに触れられるようになる。



ワークシートに児童が考えたことや思ったことを記載します。
ファイルを活用して授業で学習したことを蓄積していきます。

本校では、上記のような「特別の教科 道徳」の授業をめざして、授業研究に取り組み、指導法の工夫や授業力の向上に努めています。

第1回の授業研究は、3年1組で「きまりについて考える」授業でした。子どもたちは、スクリーンに映し出された場面のように、きまりの大切や必要性について考えました。学級全体での議論を通して、きまりを守るからこそ、みんなと楽しく安心して生活ができることに気付くことができました。

授業後の研究協議会では、研究授業をもとに、子どもたちの心に響かせる指導法や評価のあり方について話し合いました。自分の生き方を考え、主体的に判断して行動できる子どもたちとなるように、授業研究を継続し、学校の教育活動全体を通じて道徳教育に取り組んでいきます。

